

## 仕訳連携までの設定手順と流れ

本手順書は『電子債権の達人／手形の達人 for 奉行クラウド』で、会計ソフトと仕訳の汎用データ連携を行う際の設定手順となります。

尚、仕訳連携に対応できる会計ソフトは以下となります。

### 対応財務会計（メーカー）

- SMILE BS、SMILE V ((株)OSK)
- 大蔵大臣 N X、大蔵大臣 個別原価版 N X、建設大臣 N X (応研(株))
- FX2、FX4クラウド、FX5 ((株)TKC)
- 財務 R4 Ver.16.40以降（財務応援 R4 Lite除く）、財務応援 Ai企業会計 Ver.5.20以降(エプソン販売(株))
- GLOVIA smart きらら 会計 ((株)富士通マーケティング)
- 弥生会計 (弥生(株))
- 勘定奉行 i10、勘定奉行21Ver.5、勘定奉行i8((株)OBC) **勘定奉行クラウド**  
※個別原価管理編、建設業編、建設奉行21Ver.5含む
- PCA会計 (ピー・シー・エー(株))
- MJSLINK NX-I 財務大将 ((株)ミロク情報サービス)  
※仕訳連携にはMJSLINKのデータ交換オプションが必要です。

《注意》

API 連携オプションを保有されており、  
達人と勘定奉行で API 連携を行う場合は  
設定手順が異なります。

当社サポートセンターまでご連絡下さい。

### ■連携する会計ソフトの選択

メニュー：[総合]-[導入処理]-[1.会社情報登録]-[1.会社情報登録]-[財務会計]タブ

まずは連携する会計ソフトの選択を行います。

システム名称欄で▼から連携する会計ソフトを選択し、[F5 登録]を行ってください。

会社情報登録

基本設定 | コード表示設定 | 財務会計 | 分割条件 | 補収証設定 | 取引区分 | 他システム連携

仕訳出力先: SMILE V/BS

会社コード: SMILE V/BS

起票コード: 勘定奉行 i8 / i10

伝票区分初期値: 勘定奉行 i8 / i10 [個別原価管理編]

諸口科目コード 1: 勘定奉行21

諸口科目コード 2: 勘定奉行21 [個別原価管理編]

伝票番号付番設定: 勘定奉行クラウド

コード出力設定:  コードの頭0を消去して仕訳テキストを出力する

受取仕訳を連携しない:  受取手形  電手債権  電子記録債権  ファクタリング債権  期日現金入金

振出仕訳を連携しない:  支払手形  電手債務  電子記録債務  ファクタリング債務  期日現金支払

決定設定 | 定型仕訳 | 仕訳入力設定

F2 印刷... | F3 プレビュー | F5 登録 | F11 キャンセル | F12 閉じる

F1=Help | 2023/02/15

## ■仕訳で使用する科目マスタを登録する

メニュー：[総合]-[導入処理]-[8.仕訳伝票設定]-[3.勘定科目登録]/[4.補助科目登録] など…

達人で仕訳を作成する際に使用する科目マスタ（勘定科目や補助科目など）を事前に設定しておく必要があります。

勘定科目登録

勘定科目コード: 001 | 修正 | 登録件数: 12

勘定科目名: **売掛金**

勘定科目名1: 別加納

勘定科目名2:

使用有無:  使用する  使用しない  資金科目

消費税設定

税区分: 0 指定なし

税率種別: 0:標準税率

消費税率: 標準

消費税表示方法:  外税表示  内税表示  別段表示

端数処理方法:  切り捨て  四捨五入  切り上げ

事業区分: 0 指定なし

F3 入力項目設定 | F5 登録 | F7 削除 | F11 キャンセル | F12 閉じる

勘定科目名を入力してください | F1=Help

必要な科目は事前に全て登録をしておきます。

## ■仕訳を作成する設定を行う

メニュー：[総合]-[導入処理]-[1.会社情報登録]-[1.会社情報登録]-[財務会計]タブ-[システム設定]ボタン

達人で仕訳を作成するには、仕訳伝票作成指定の設定を「作成する」にしておく必要があります。

(※デフォルトでは“作成しない”設定になっています。)

システム設定

手形 | 電子手形 | 電子債権 | ファクシング | 期日現金

受手仕訳伝票作成指定:  作成しない  作成する

裏書仕訳伝票作成指定:  作成しない  作成する

裏書時の手形科目を評価勘定で示す

割引仕訳伝票作成指定:  作成しない  作成する

割引時の手形科目を評価勘定で示す

支手仕訳伝票作成指定:  作成しない  作成する

F5 適用 | F11 キャンセル | F12 閉じる

手形や電子記録債権（でんさい）等の管理内容ごとに、仕訳作成したい各てん末の設定を「作成する」に変更して[F5 適用]します。

## ■ 定型仕訳の設定を行う

達人で仕訳を作成する場合、データを登録する前に「定型仕訳」を設定しておく必要がございます。

データ登録時に実際に作成される仕訳は、この「定型仕訳」の設定の内容が反映されて作成されます。

またこの設定は管理内容、各てん末によって設定メニューが異なります。

### ◎受領/譲渡/振出の仕訳

メニュー：[総合]-[導入処理]-[1.会社情報登録]-[1.会社情報登録]-[財務会計]タブ-[定型仕訳]ボタン

設定を行う取引種別/てん末を選択し、[F5 新規]から科目を指定し、仕訳情報を設定して[F5 登録]を行います。

《便利設定》

- ◎Ver.8.38.01/9.01.01～追加機能  
摘要欄に「{\$取引先}」を設定することで、  
摘要に自動的に取引先名が出てくるようになります。
- ◎Ver.8.40.01/9.03.01～追加機能  
摘要欄に「{\$記載期日}」を設定することで、  
摘要に自動的に記載期日が出てくるようになります。

### ◎支払手形決済/受取手形割引/決済の仕訳

メニュー：[総合]-[導入処理]-[2.銀行登録]-[3.銀行本支店仕訳科目登録]

取引銀行ごとに割引、決済の仕訳を設定します。

取引種別/てん末/銀行コード・支店コードを呼び出して[表示]→[F6 編集] から科目を指定し、

仕訳情報を設定して[F5 登録]を行います。

《便利設定》

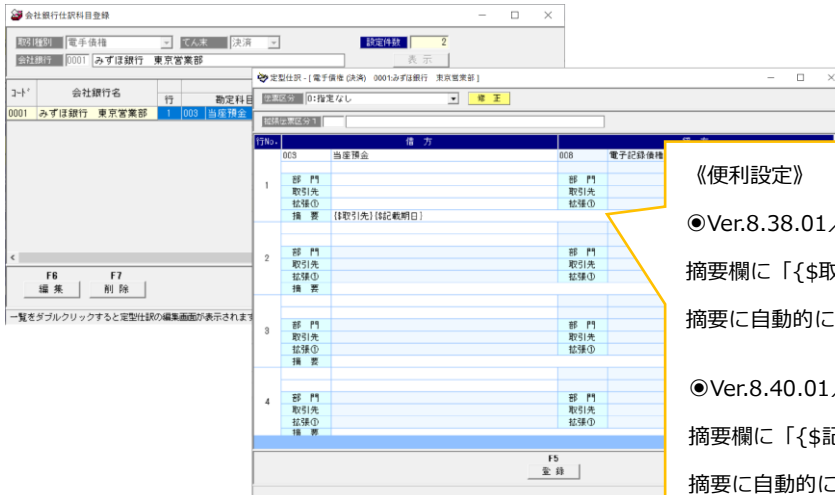
- ◎Ver.8.38.01/9.01.01～追加機能  
摘要欄に「{\$取引先}」を設定することで、  
摘要に自動的に取引先名が出てくるようになります。
- ◎Ver.8.40.01/9.03.01～追加機能  
摘要欄に「{\$記載期日}」を設定することで、  
摘要に自動的に記載期日が出てくるようになります。

◎電手や電子記録債権（でんさい）、ファクタリング等の債務決済/債権割引/決済の仕訳

メニュー：[総合]-[導入処理]-[2.銀行登録]-[5.会社銀行仕訳科目登録]

設定している会社銀行ごとに割引、決済の仕訳を設定します。

取引種別/てん末/会社銀行コードで呼び出して[表示]→[F6 編集] から科目を指定し、仕訳情報を設定して[F5 登録]を行います。

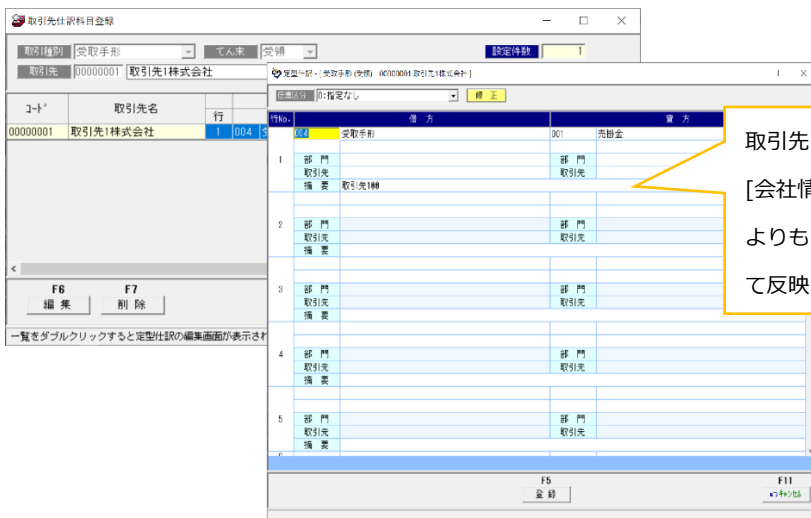


◎取引先ごとに仕訳を設定する場合

メニュー：[総合]-[導入処理]-[3.取引先登録]-[2.取引先仕訳科目登録]

取引先ごとに使用する勘定科目が違う場合や、仕訳に補助科目を出したい場合などにこちらのメニューから設定を行います。

取引種別/てん末/取引先コードで呼び出して[表示]→[F6 編集] から科目を指定し、仕訳情報を設定して[F5 登録]を行います。

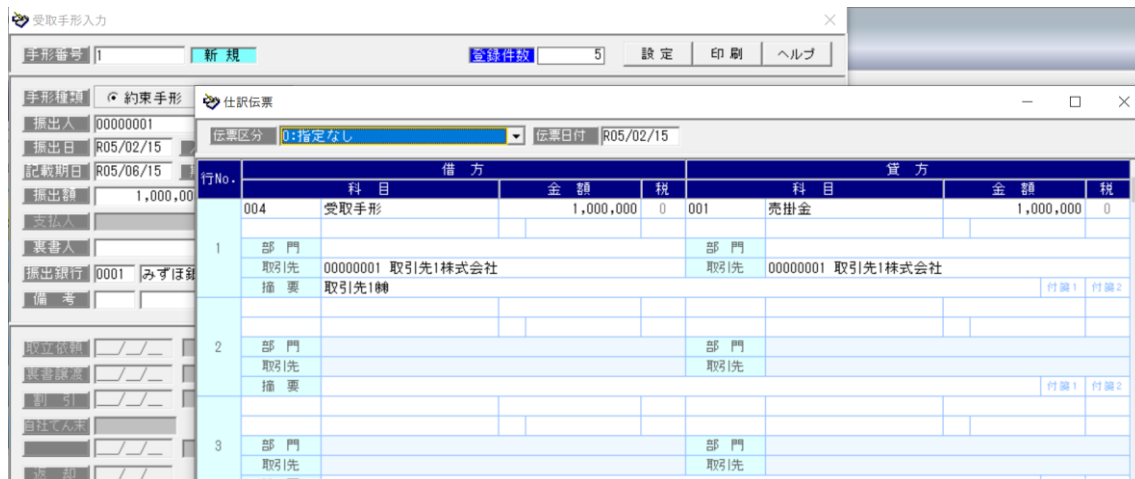


以上で会計ソフト連携に必要な事前設定は完了です。

以降は、「仕訳作成→会計ソフトへ汎用データ連携」までの流れをご説明いたします。

## ■達人でデータを登録する

連携設定、定型仕訳等の設定が全て完了している状態でデータ登録を行うと、自動的に仕訳が作成されます。

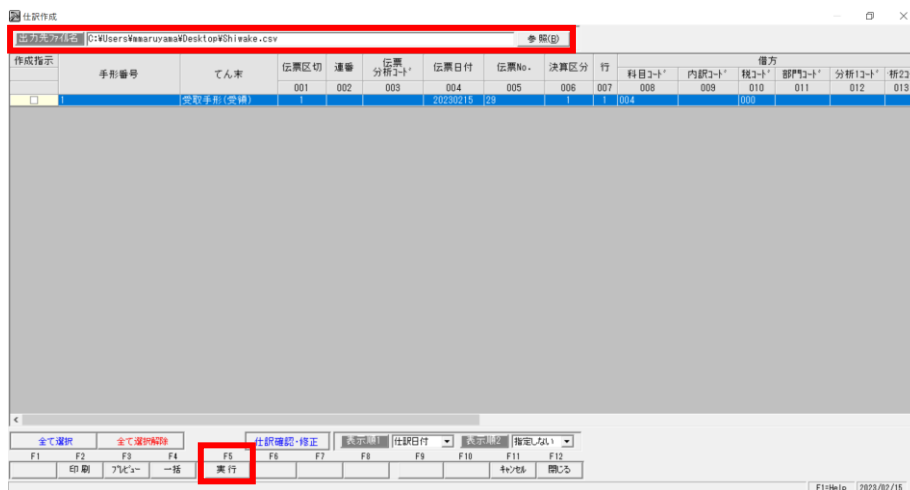


## ■仕訳作成を行う

メニュー：[総合]-[連動処理]-[1.仕訳作成]

本メニューで連携したい仕訳データを検索し、「出力先ファイル名（連携用ファイルの保存先）」を指定し

[F5 実行]を行うことで、指定した場所に連携用の仕訳ファイルが作成されます。



## ■会計ソフトで仕訳ファイルを受入する

[総合]-[連動処理]-[1.仕訳作成]メニューより出力した仕訳ファイルを、会計ソフト側で受入します。

本手順につきましては、各会計ソフトのサポートセンターまでお問い合わせいただけますと幸いです。

会計ソフトとの仕訳連携までの設定と流れのご説明は以上となります。

ご不明点や設定ができない場合は、お気軽にサポートセンターまでお問い合わせください。

【お問い合わせ】

○サポートセンター○

TEL : 050-2018-2788

(月～金曜日/9:30～12:00、13:00～17:00)